

本明川水系流域治水プロジェクト 【変更・追加 説明資料】

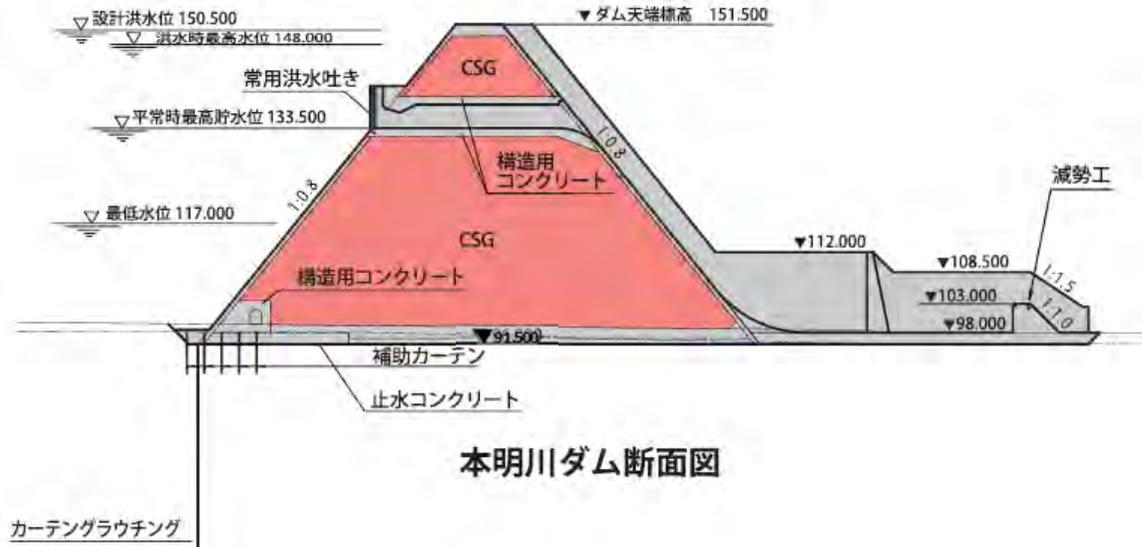
本明川水系流域治水プロジェクト 【工程変更】

～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

■本明川ダム建設

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ダム下流河道のピーク流量を低減させることを目的として、本明川ダム建設事業を進めています。



本明川ダム断面図

本明川ダム事業 完成イメージ



完成イメージ図

本明川ダム諸元

- 型式： 台形CSGダム
- 堤高： 約 60.0m
- 堤頂長： 約 340m
- 集水面積： 約 8.9km²
- 湛水面積： 約 0.4km²
- 総貯水容量： 約 620万m³
- 有効貯水容量： 約 580万m³

※CSG： Cemented Sand and Gravel の略（セメントで固めた砂礫のこと）

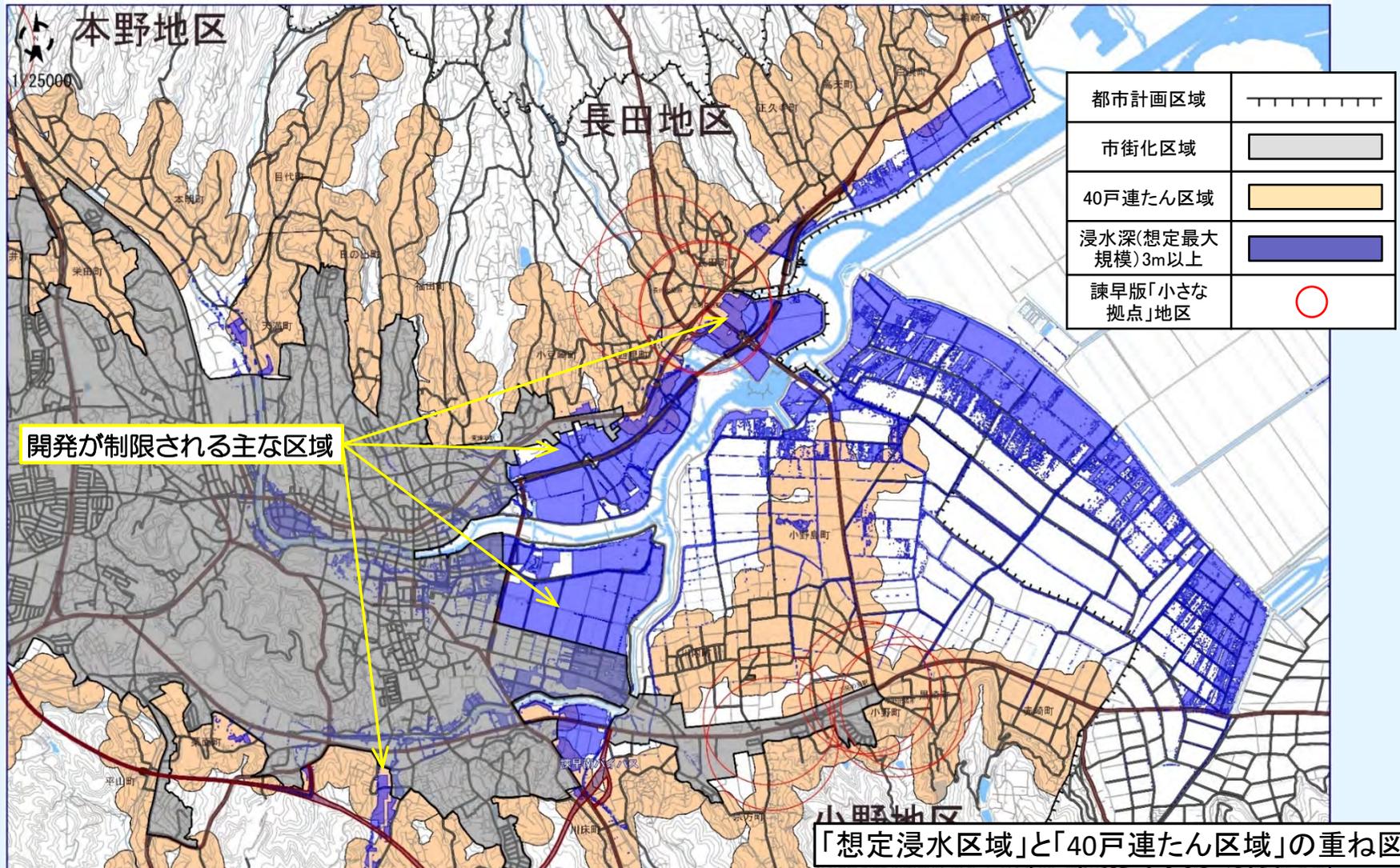
区分	実施内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	本明川ダム建設	長崎河川国道事務所			

本明川水系流域治水プロジェクト【追加】

被害対象を減少させるための対策

～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

- 頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおいて開発を抑制し、安全なまちづくりのための対策を講じる。
- 改正都市計画法（令和4年4月1日施行）に伴い、市開発行為等の許可の基準に関する条例を改正し、災害リスクの高いエリアでの開発を原則禁止。
- 本明川流域では、市街化調整区域内の浸水想定区域のうち、災害時に人命に危険を及ぼす恐れの高い、想定浸水深3m以上の区域が規制の対象。



区分	実施内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	市街化調整区域における新たな開発等への対応	諫早市	▶		

本明川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

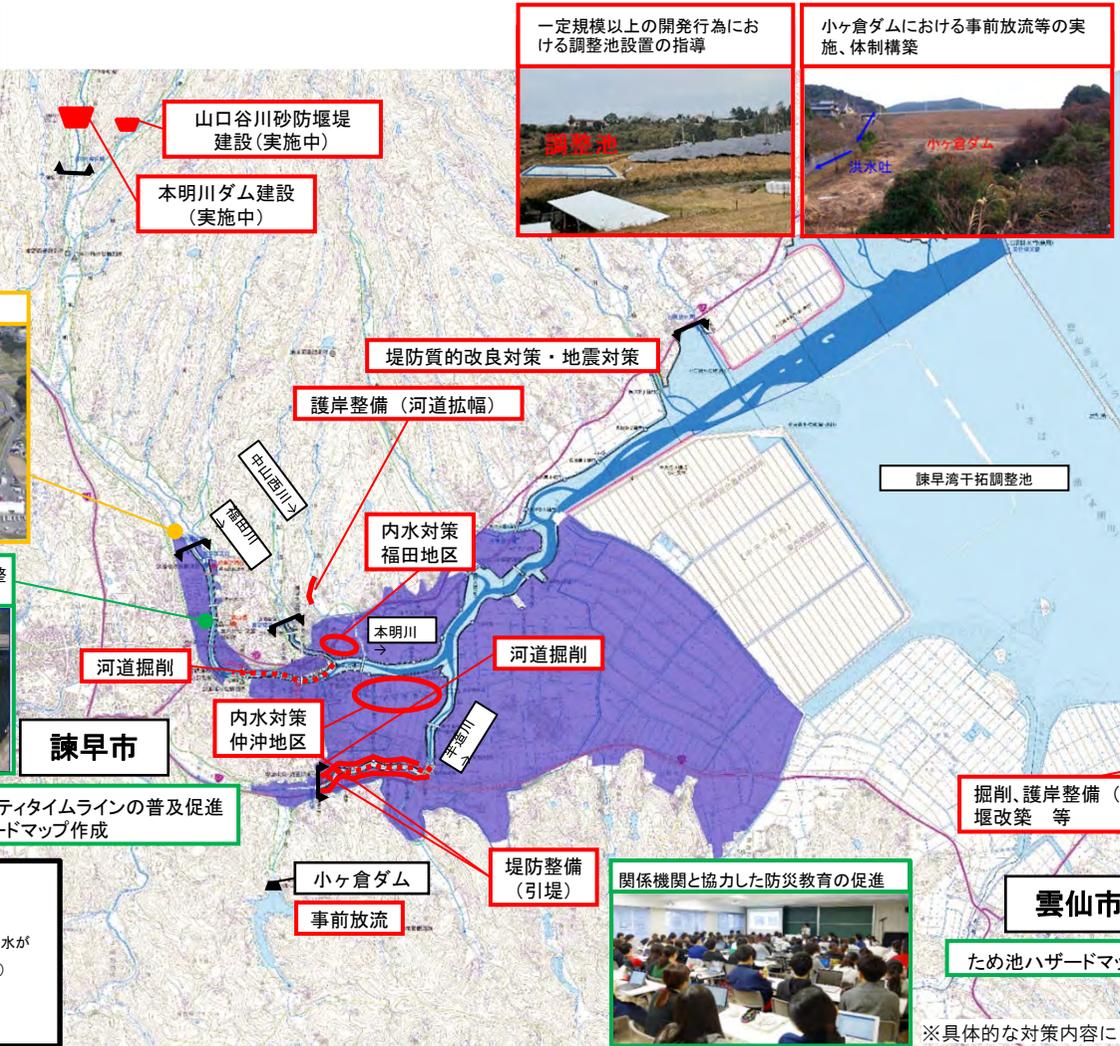
○ 令和元年度東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、本明川水系においても、急流河川特有の急激な水位上昇と洪水が諫早市街部を流下する河川の特徴から、堤防整備や本明川ダム建設、多機関連携型タイムラインの運用などの事前防災対策を進める。国管理区間において、甚大な被害が発生した戦後最大の昭和32年7月洪水（諫早大洪水）を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



講習会等によるコミュニティタイムラインの普及促進
土砂災害・ため池ハザードマップ作成

凡例

- 浸水範囲
(戦後最大のS32.7と同規模の洪水が発生した場合の浸水範囲 想定)
- 大臣管理区間



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、堤防整備(引堤)、本明川ダム建設、堤防質的改良対策・地震対策、護岸整備(河道拡幅)等
- 小ヶ倉ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- 一定規模以上の開発行為における調整池設置の指導
- 市道の透水性舗装(歩道)
- 保安林・民有林の保水能力の機能向上
- 豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援
- 砂防・治山施設等の整備促進による土砂流出抑制
- 排水機場等の整備・運用
- 諫早湾干拓調整池の適切な水位管理

■ 被害対象を減少させるための対策

- 二線堤の保全
- 市街化調整区域における新たな開発等への対応

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- 関係機関と協力した防災教育の促進
- 在留・訪日外国人に向けた防災情報の普及啓発
- プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
- 講習会等によるコミュニティタイムラインの普及促進
- 多機関連携型タイムラインの運用
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練の促進
- 水害リスク情報未提供区域の解消
- 土砂災害・ため池ハザードマップ作成
- 土砂災害警戒区域等の現地表示促進
- 防災拠点等の整備
- 洪水後の塵芥等の搬出拠点整備(天満・永昌地区かわまちづくり)

土砂災害警戒区域等の現地表示促進

土山田川

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

本明川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

- 本明川水系では、本明川本川及び支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 流下能力が不足している半造川の嘉一橋下流区間において引堤を実施。県区間においても、中山西川の河川改修を実施する。また、小ヶ倉ダムにおける事前放流等の実施、体制構築、在留・訪日外国人に向けた防災情報の普及啓発、水害リスク情報未提供区域の解消などのソフト対策を実施し、流域内の被害の軽減を目指す。
 - 【中期】 本明川市街地の河道掘削及び半造川の嘉一橋上流区間の引堤、本明川ダムの建設を実施。川幅を広げることで流下能力を向上させる。県区間においても、山田川の河川改修を実施する。また、土砂災害警戒区域等の現地表示の促進を実施し、被害の最小化を目指す。
 - 【中長期】 内水軽減対策や堤防の質的改良対策・地震対策の実施し、流域内の浸水被害の軽減を図り、洪水を安全に流下させる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	長崎河川国道事務所	本明川市街地河道掘削		
	堤防整備(引堤)	長崎河川国道事務所	嘉一橋下流区間	嘉一橋上流区間	
	本明川ダム建設	長崎河川国道事務所	半造川引堤事業 完成		
	堤防質的改良対策・地震対策	長崎河川国道事務所	中山西川 完成	山田川 完成	
	護岸整備(河道拡幅)等	長崎県	中山西川	山田川	
	小ヶ倉ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	長崎河川国道事務所 長崎県・諫早市 等	事前放流の実施、体制構築		
	一定規模以上の開発行為における調整池の設置の指導	諫早市・雲仙市			
	市道の透水性舗装(歩道)	諫早市			
	保安林・民有林の保水能力機能向上	長崎森林管理署・長崎県・諫早市・雲仙市・森林整備センター 等	豊かな森づくり基金 第2次計画の実施		
	豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援	諫早市	山口谷川砂防堰堤 完成		
	砂防施設の整備による土砂流出抑制	長崎県			
	治山施設等の整備による土砂流出抑制	長崎県			
	排水機場等の整備・運用	長崎河川国道事務所 長崎県・諫早市	平田地区奥地保安林保全緊急対策事業 完成		
	諫早湾干拓調整池の適切な水位管理	長崎県・九州農政局	内水対策の実施		
	被害対象を減少させるための対策	二線堤の保全	長崎河川国道事務所	諫早市開発行為等の許可の基準に関する条例を改正	
市街化調整区域における新たな開発等への対応		諫早市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置	長崎河川国道事務所 長崎県	河川監視カメラの設置		
	関係機関と協力した防災教育の促進	長崎河川国道事務所・長崎県・長崎地方気象台・諫早市・雲仙市	関係機関と協力した防災教育の促進		
	在留・訪日外国人に向けた防災情報の普及啓発	長崎地方気象台			
	プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化	長崎河川国道事務所 長崎県・諫早市・雲仙市	在留・訪日外国人に向けた防災情報の普及啓発		
	講習会によるコミュニティタイムラインの普及促進	長崎河川国道事務所・諫早市			
	多機関連携型タイムラインの運用	長崎河川国道事務所・長崎県・長崎地方気象台・諫早市			
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練の促進	長崎河川国道事務所 長崎県・諫早市・雲仙市			
	水害リスク情報未提供区域の解消	長崎県			
	土砂災害・ため池ハザードマップ作成	諫早市	本明川水系では、34河川で公表予定		
	ため池ハザードマップ作成	雲仙市			
	土砂災害警戒区域等の現地表示促進	長崎県			
	防災拠点等の整備	長崎河川国道事務所 諫早市	諫早駅前 拠点整備 完成		
洪水後の應弁等の搬出拠点整備(天満・永島地区かわまちづくり)	長崎河川国道事務所 諫早市				

■ 河川対策 (約765億円)
■ 砂防対策 (約6億円)

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

グリーンインフラ
詳細次ページ

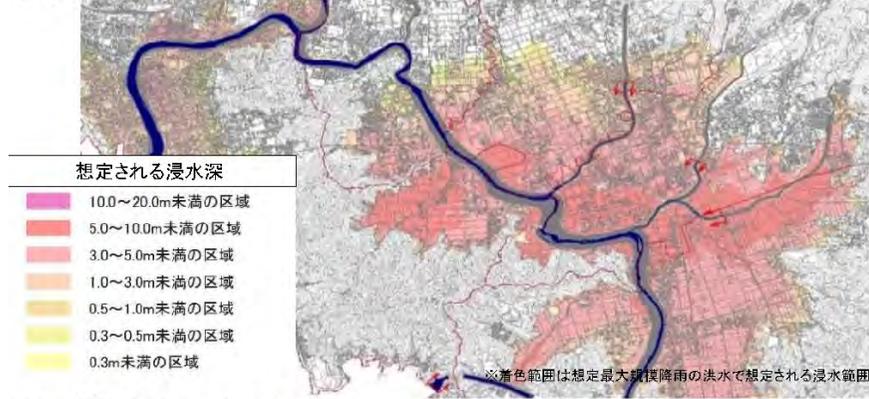
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

水害リスクマップの活用～立地選択・操業リスク評価、BCPの策定～

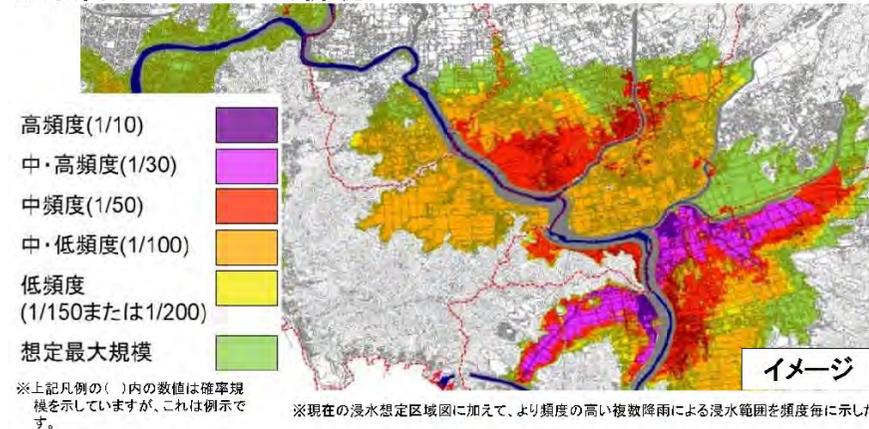
- これまでは想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供してきたところ。
- 今後は、想定最大規模に加えて、より頻度の高い降雨による浸水範囲を頻度毎に示した水害リスクマップを新たに整備し、水害リスク情報の充実を図る。
- こうした取組により「水災害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり」を促進。

水害リスク情報の充実

○水害ハザードマップ(従来)



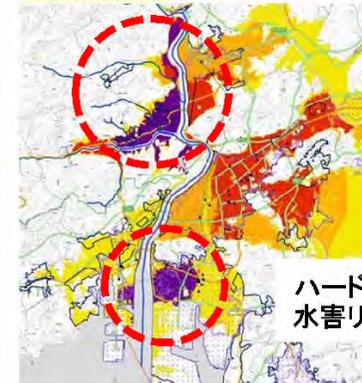
○水害リスクマップ(新規)



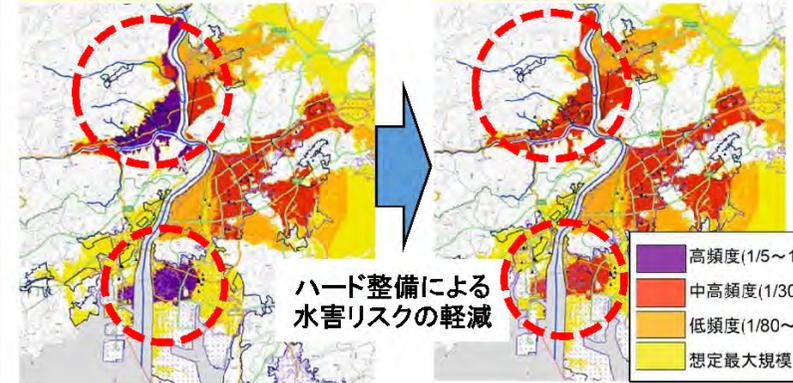
水災害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり

- ・現在のリスクに加え、将来のリスクも提示(整備効果の見える化)
- ・土地利用規制や居住の誘導を促進
- ・きめ細やかな企業BCPの作成、水害保険への水害リスクの反映

現況



整備後



ハード整備による
水害リスクの軽減

※1 河道条件: H28末時

※2 河道条件: R5末時点
(高頻度以外は概況河道の計算結果)

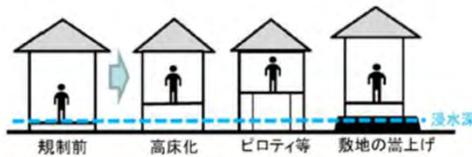
整備効果の見える化のイメージ

【令和4年度の国土交通省としての取組】

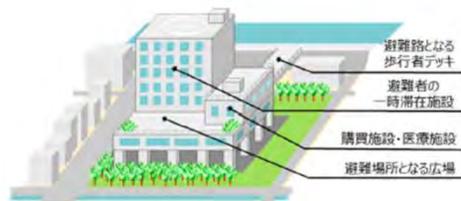
- ・全国109の一級水系において外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を完了
- ・特定都市河川や防災まちづくりに取り組む地区において、内水を考慮した水害リスクマップを作成

水害リスクマップの活用 ~防災まちづくり~

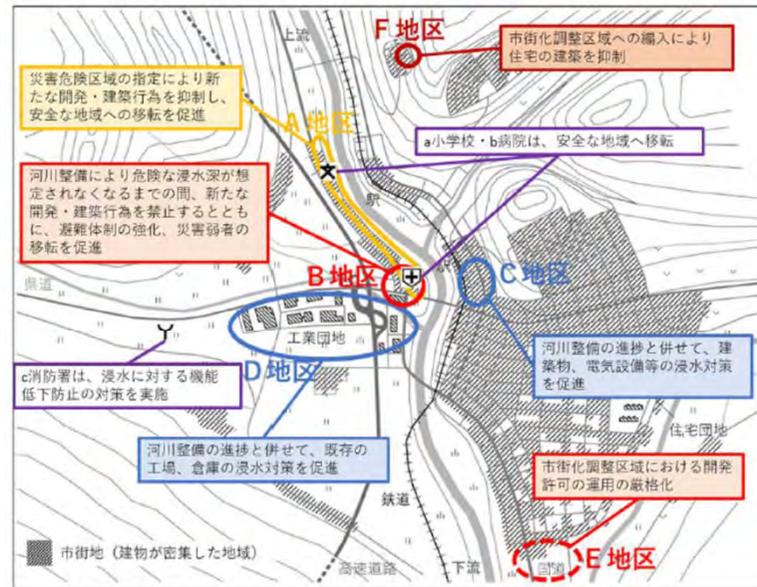
水害リスクマップを作成することで、洪水の多段階の発生頻度(リスク)・河川の整備状況に応じて、流域治水や防災まちづくりに活用(対策)することができる。



建築物の浸水対策
(脆弱性を小さくする対策)



避難路・避難施設の整備
(脆弱性を小さくする対策)



防災まちづくりの対策内容イメージ



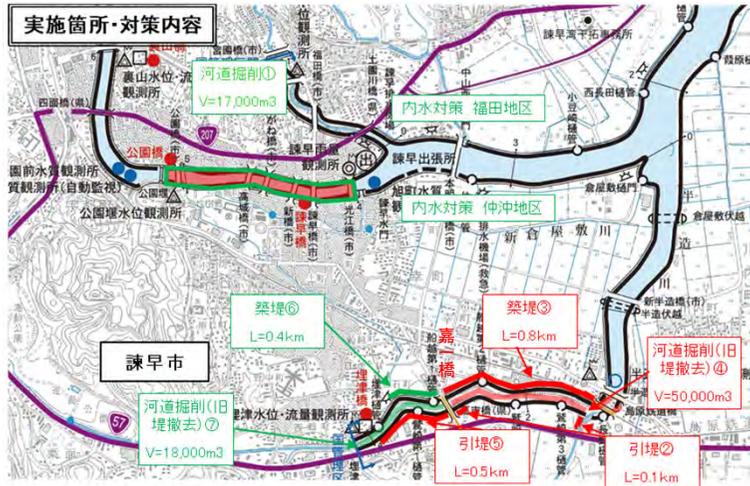
土地利用の規制、安全な区域への移転
(暴露を小さくする対策)

※水災害リスクを踏まえた防災まちづくりのガイドラインより

本明川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

○半造川の嘉一橋下流の堤防整備(引堤)が完了し、昭和32年7月洪水(諫早大水害)が再び発生しても、嘉一橋から下流区間において、HWL以下で安全に流下させることが可能。



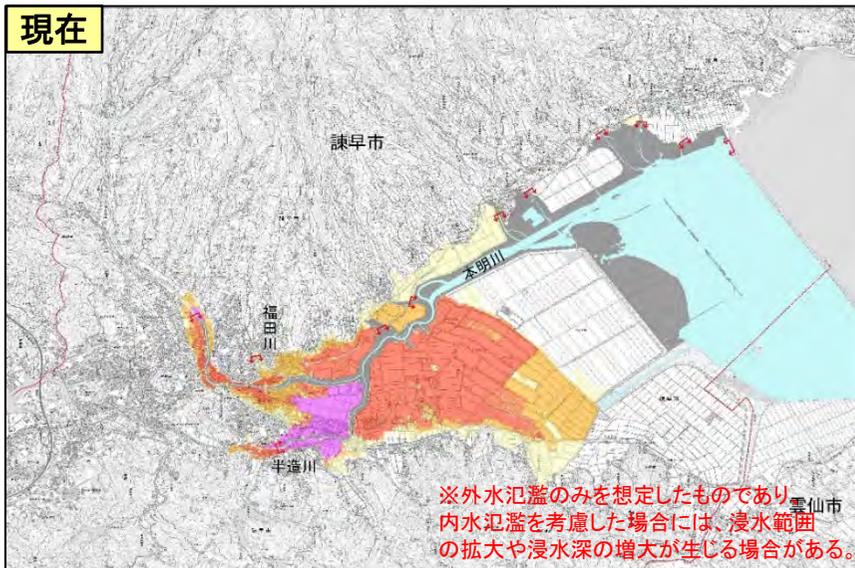
区分	区間	対策内容	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	本明川市街地区間	本明川ダムの建設	R3	本明川ダム完成100%
	半造川 嘉下流区間	①河道掘削	20%	100%
		②引堤 ③築堤 ④旧堤撤去	100%	
	半造川 嘉上流区間	⑤引堤 ⑥左岸築堤 ⑦旧堤撤去	30%	100%
	堤防質的改良対策・地震対策	耐震対策		100%
福田地区、仲沖地区	内水対策		100%	

【短期整備完了の進捗】
 本明川市街地区間
 ①河道掘削掘削 0%→20%
 嘉一橋下流区間 0%→100%
 ②引堤 80%→100%
 ③左岸築堤 0%→100%
 ④旧堤撤去 0%→100%
 嘉一橋上流区間
 ⑤⑥⑦引堤・左岸築堤・旧堤撤去 0%→30%

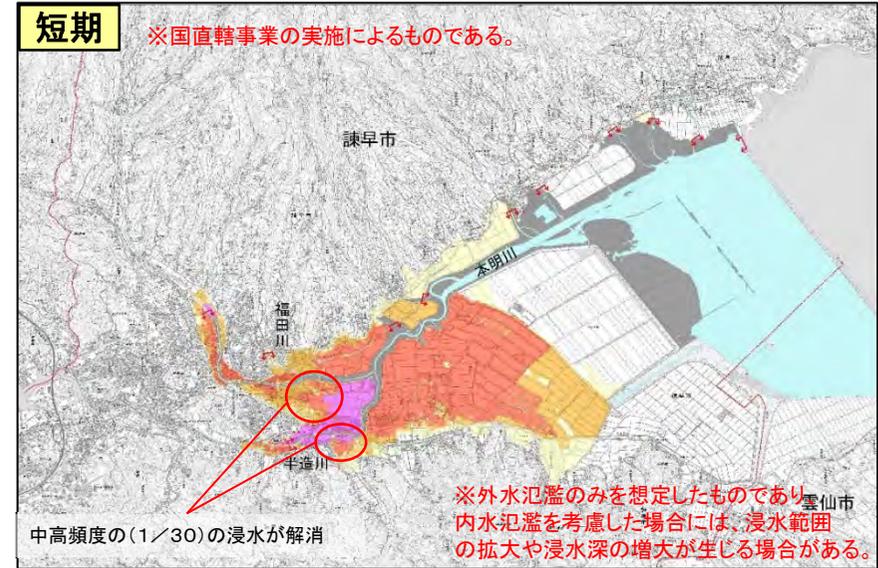
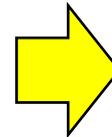


5ヶ年加速化メニュー: 赤字
 整備計画残メニュー: 緑字

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



※外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には、浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。



中高頻度の(1/30)の浸水が解消

※外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には、浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

指標を活用した流域治水プロジェクトの推進

流域内の自治体や関係者が連携し、多層的な流域治水の取り組みを推進するため、下記の指標をとりまとめ、確認・共有することで更なる流域治水プロジェクトの推進に取り組む。また、令和3年度の実施した取組についての共有を図る。

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率



整備率 集計中

農地・農業用施設の活用



集計中

流出抑制対策の実施



集計中

山地の保水機能向上・
土砂・流木対策



集計中

立地適正化計画における
防災指針の作成



集計中

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定
集計中

内水浸水想定
集計中

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保計画
集計中

個別避難計画
集計中

本明川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備率</p>  <p>整備率 集計中</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>集計中</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>集計中</p>	<p>山地の保水機能向上・土砂・流木対策</p>  <p>集計中</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>集計中</p>	<p>水害リスク情報の提供</p>  <p>洪水浸水想定 集計中 内水浸水想定 集計中</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 集計中 個別避難計画 集計中</p>
--	---	---	---	--	--	---

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防整備(引堤)半造川



砂防施設の整備による土砂流出抑制

護岸整備(河道拡幅)中山西川



治山施設の整備による土砂流出抑制



半造川、中山西川、山田川の河川整備を実施し、流下能力を向上させる。
砂防、治山施設の整備を実施し、土砂流出を抑制させる。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

PTA向け防災講座の実施(国・県)



長崎大学教育学部への防災講座
(国・気象台・長崎大学)



- ・国(河川)、県(砂防)で連携し、PTA連合会向けに防災講座を実施。
 - ・教師を目指す学生向けに国、気象台、大学が連携し、防災教育講座を実施。
- 半造川1基(国)、山田川1基(県)に簡易型カメラを設置。

在留・在日外国人旅行者に対する防災情報の普及啓発

天気(てんき)をスマートフォンでみてみよう

長崎地方気象台
095-811-4862

簡易型河川監視カメラの設置

R3設置 半造川簡易型カメラ(国)(内水監視)

R3設置 山田川簡易型カメラ(県)

本明川水系流域治水プロジェクト

【取組の進捗状況】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

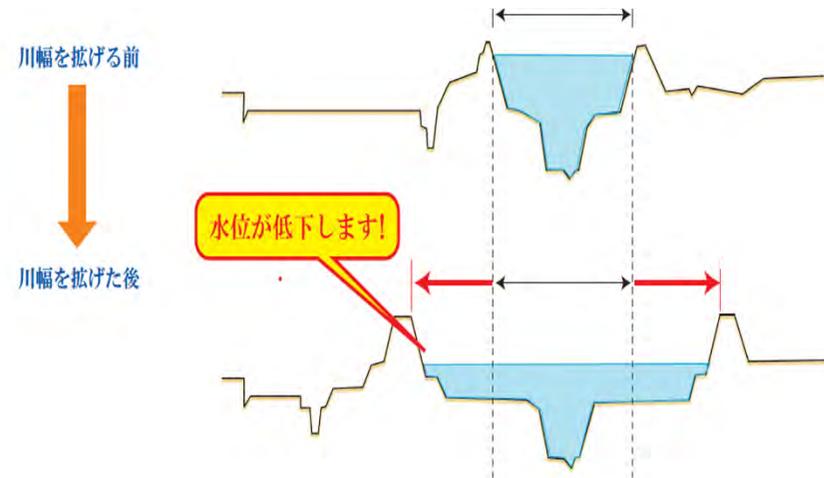
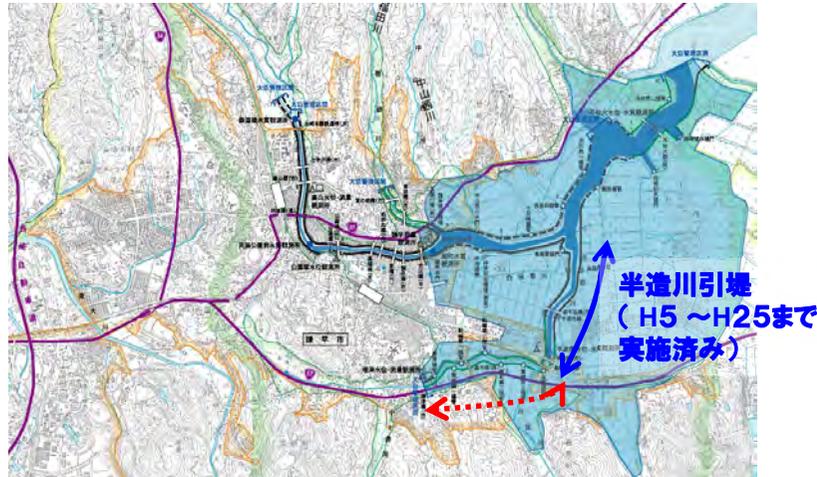
長崎河川国道事務所

取組進捗状況

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～堤防整備（引堤）半造川～

- 河川水位を低下させるためのとして、流下能力が本明川水系では著しく低い支川半造川の堤防整備（引堤）を実施中。
- 令和3年度は、島原鉄道橋下流の旧堤防の撤去工事に着手。



着工前



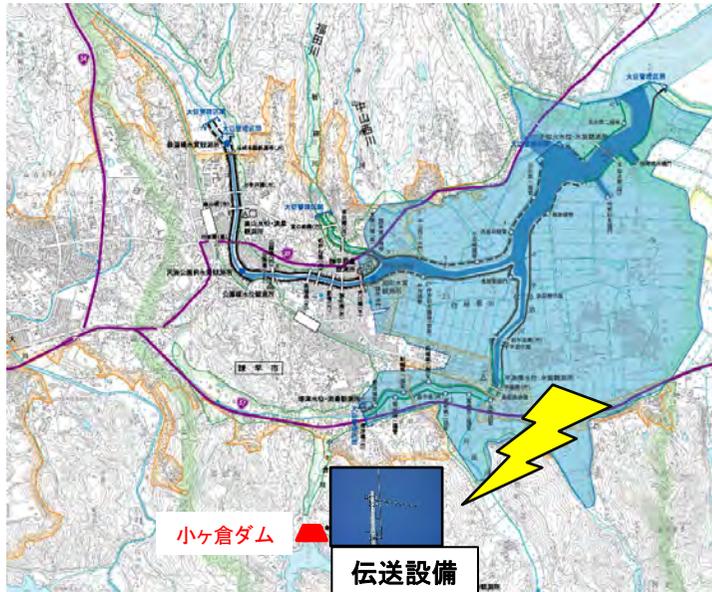
施工中(R3.1.31)



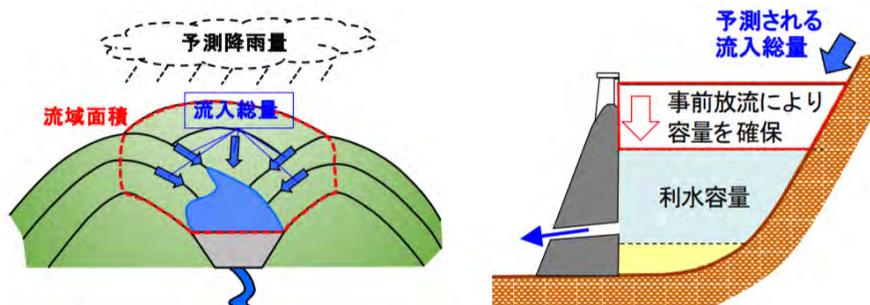
本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策】

～小ヶ倉ダムにおける事前放流の実施、体制の構築～

- 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針（令和元年 12 月12 日 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議）に基づき、小ヶ倉ダムの事前放流を実施します。これに伴い、小ヶ倉ダムの事前放流を円滑に実施するために、事前放流実施体制の構築を進めます。
- 令和4年度を目標に、小ヶ倉ダムの水位情報について、河川情報システム等で閲覧するため、国、県等の関係者で伝送設備の設置について実施中。



表示例



ダム事前放流のイメージ図

出典)事前放流ガイドライン 令和2年4月
国土交通省 水管理・国土保全局

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～関係機関と協力した防災教育の促進～

- ・諫早市内の小中学校を対象に、水害や避難についての防災出前講座を実施。（R3 5校）
- ・諫早市PTA連合会向けに長崎河川国道事務所（河川災害）と長崎県県央振興局（土砂災害）で連携し、避難に関する出前講座を実施。（R3.11月）
- ・将来教師をめざす長崎大学教育学部学生へ、長崎大学、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所で連携して、防災教育講座を実施。（R3.12月）

小中学生を対象とした防災教育



友達や家族の方々と一緒に避難ルートを確認

長崎大学教育学部学生への防災教育



気象・火山・水害に対する防災出前講座

諫早市PTA連合会向けに出前講座



災害に関する防災講座



手づくり防災マップを作成



学生による防災マップ成果発表 意見交換

聴覚障害者による防災マップ作りを支援

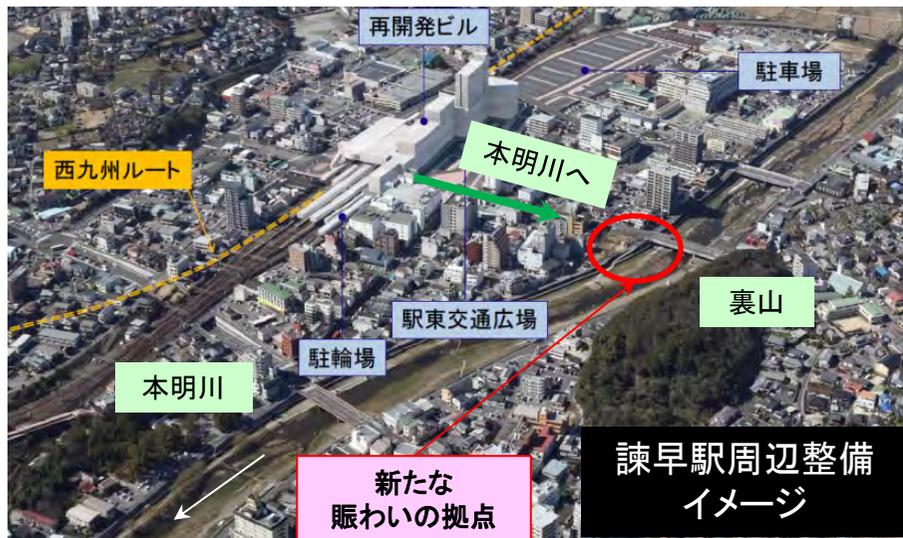


災害に関する防災講座

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～洪水後の塵芥等の搬出拠点の整備～（天満・永昌地区かわまちづくり）

- 洪水後の流木等の発生に備え、搬出拠点の整備及び管理用通路の設置を実施予定。諫早市の公園整備と合わせ、かわまちづくり事業を実施中。
- 令和3年度は、令和4年度の工事実施に向けて、実施設計及び関係手続きを実施中。



流木の堆積状況(S32.7諫早大水害)

駅前公園の現状



長崎県

取組進捗状況

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～砂防施設の整備促進による土砂流出抑制～

○大雨などによる溪流の浸食や山腹崩壊などで発生する土石流による被害を軽減し、下流域の河道閉塞や河川の氾濫を低減するため、本明川水系山口谷川事業間連携砂防事業を進めています。

【位置図】

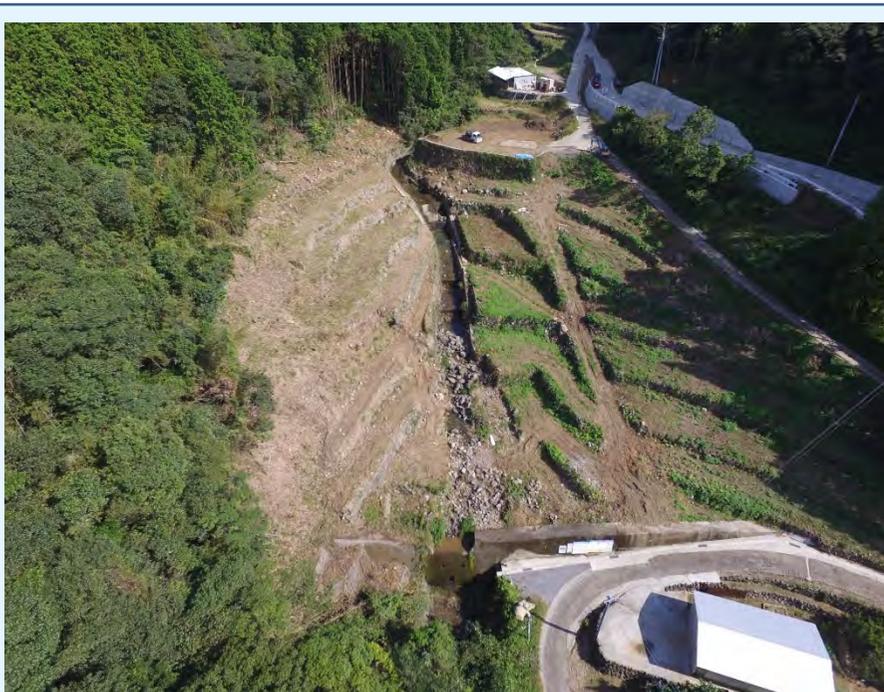


○保全対象

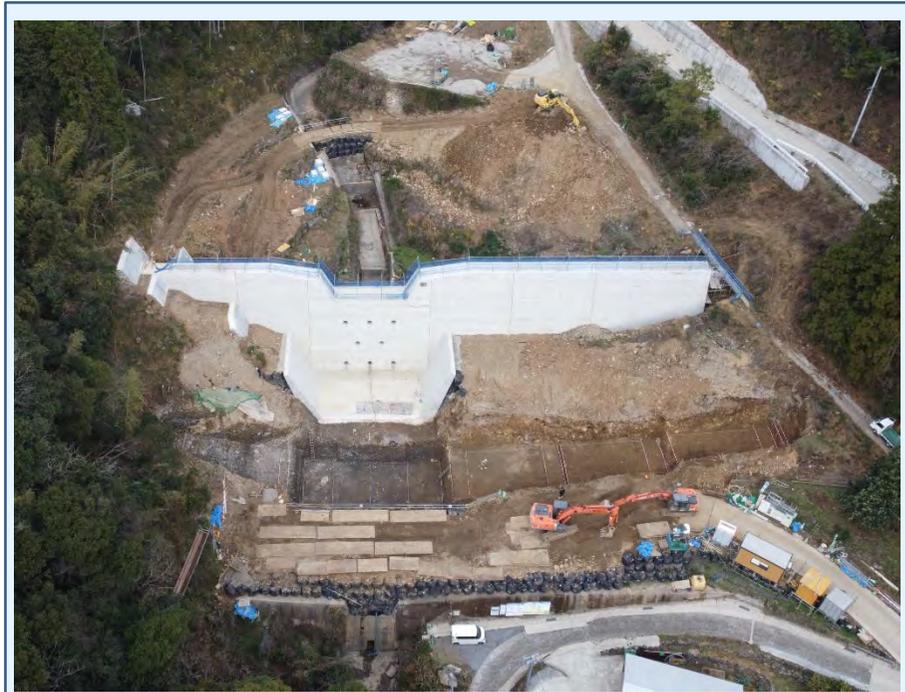
人家12戸、公民館1棟【地域防災計画に記載のある避難所】
2級市道湯野尾線100m、その他市道山口高峰線160m

○実施内容

砂防堰堤1基（R2～R4債務） 溪流保全工1式（R5）



着工前



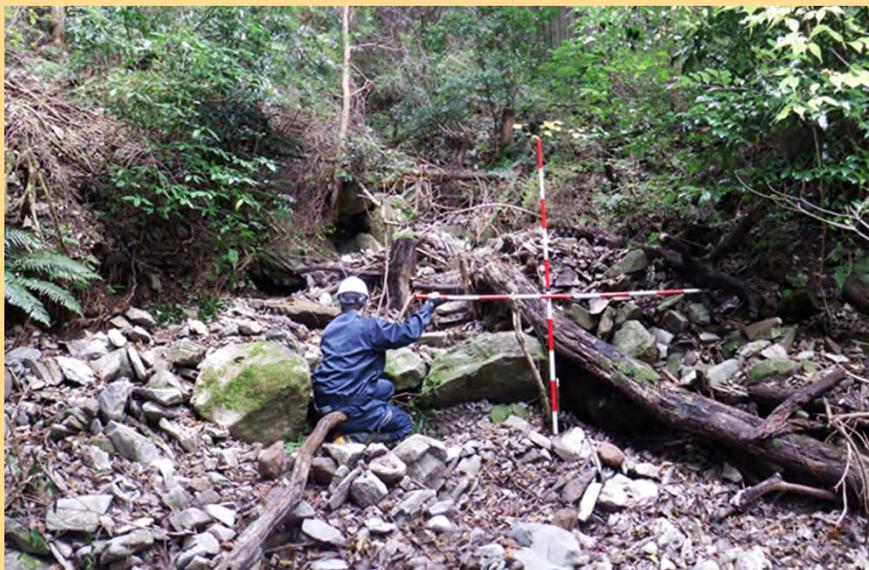
現況(1月初旬)

本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～治山施設の整備促進による土砂流出抑制～

○諫早市高来町平田地区において令和3年度中に治山ダム2基の整備を実施し、土砂の流木の流出を抑制して下流域の河道閉塞や河川の氾濫を低減させる。

着工前



完成後 (R3.7)



保全対象



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

～危機管理型水位計、簡易型河川カメラの設置～

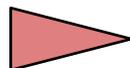
○既存の水位計の他、危機管理型水位計を長崎県にて設置済み。

○洪水時等に河川の状況を提供をすること目的として、簡易型の河川カメラの設置を実施。（令和3年 国1箇所 長崎県1箇所）



川の防災情報

で検索



水位情報やカメラ画像を確認

国土交通省
川の防災情報
長崎県諫早市

R3設置
半造川簡易型カメラ（国）
（内水監視）

R3設置
山田川簡易型カメラ（県）

水位計
河川カメラ

長崎地方気象台 取組進捗状況

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減早期復旧、復興のための対策】 ～在留・訪日外国人旅行者に対する防災情報の普及啓発～

■在留・訪日外国人旅行者に対する防災情報の普及啓発

在留・訪日外国人の方が防災気象情報を理解し安全な避難行動に結びつけるための母国語のポイント解説コンテンツ等を作成・配布（提供）することで、外国の方々を含めた地域全体の防災力を向上させることを目的とする。



留学生への聞き取り

- ・関係機関と連携し、外国人が必要とする防災気象情報のニーズ調査を実施

令和2年度

ステージ 01
利用実態調査

令和4年1月12日提供開始！



日本語を含む15か国語に対応

- ・多言語に適した主要なコンテンツを気象台HPに掲載

令和3年度

ステージ 02
電子コンテンツ提供

自治体等へ配布



- ・やさしい日本語リーフレット制作配布
- ・ベトナム語、中国語解説リーフレット制作配布

令和3年度

ステージ 03
リーフレット制作・配布



- ・解説リーフレットの対象国を拡大し充実

令和4年度以降

ステージ 04
多言語化の拡充、他

諫早市 取組進捗状況

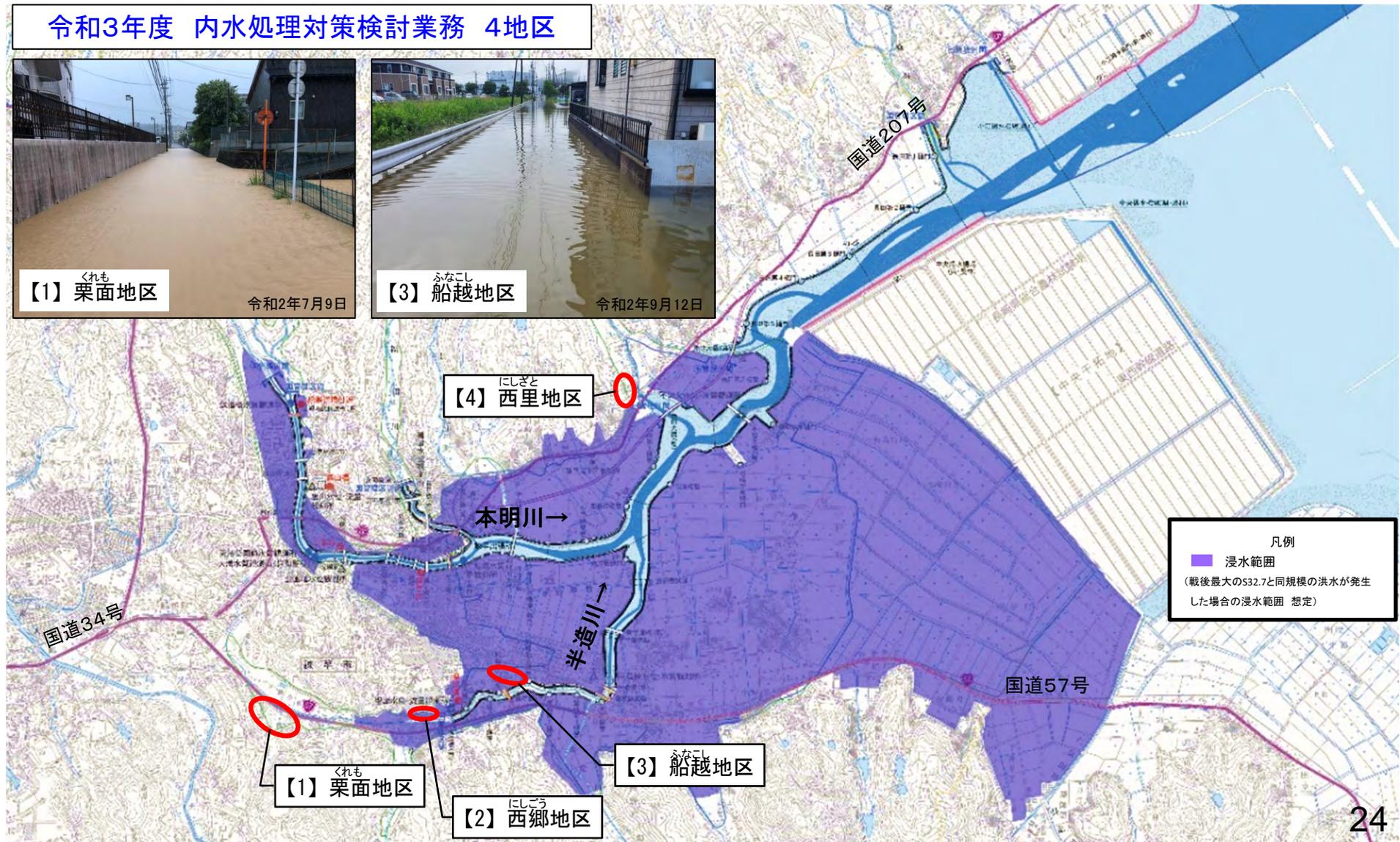
本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策】

～排水機場等の整備・運用～

○市街化の進展に伴う流出量の増加や、豪雨の激甚・頻発化により内水被害が起こっている地区について、被害を軽減させるため、内水対策施設の再整備を行う。

○令和3年度は、4地区の内水処理対策検討業務を実施中。

令和3年度 内水処理対策検討業務 4地区



本明川水系流域治水プロジェクト【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

～豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援～

■豊かな森づくり基金による民有林の継続的な森林整備支援

近年の木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等により手入れ不足の森林が増加している中で、森林所有者が行う植栽や間伐等の作業に対する支援を行うことにより、森林整備を推進し、森林の持つ国土保全、洪水防止などの公益的機能を高度に発揮させる。

【事業計画】

●広葉樹植栽推進計画・・・私有林等への広葉樹植栽及び広葉樹による複層林化の推進

	第1次計画(H18～R2)		第2次計画(R3～R12)	
	(計画)	(実績)	(計画)	(R3実施)
植 栽	225ha	210ha	90ha	5.5ha
複層林化	61ha	51ha	-	-
下 刈	1,360ha	1,262ha	800ha	52.5ha
除 伐	74ha	73ha	80ha	5.0ha

●針葉樹整備促進計画・・・私有林等への針葉樹林の森林整備の推進

	第1次計画(H19～R2)		第2次計画(R3～R12)	
	(計画)	(実績)	(計画)	(R3実施)
植 栽	14ha	11ha	10ha	2.0ha
下 刈	77ha	62ha	113ha	4.6ha
間伐(除伐込)	1,700ha	1,811ha	1,930ha	169.4ha
枝 打	25ha	10ha	10ha	-
作 業 路	100,300m	143,889m	160,000m	10,000m

【R2実施状況】



広葉樹(クヌギ)植栽



針葉樹(ヒノキ)間伐



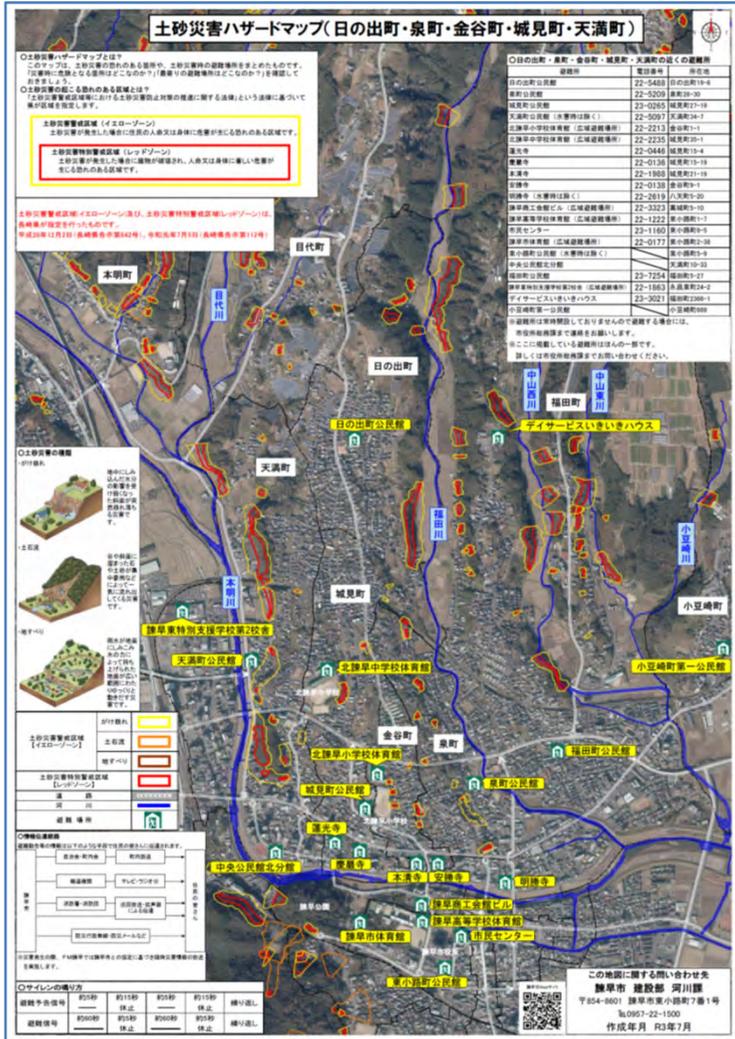
作業路整備

本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興ための対策】

～土砂災害・ため池ハザードマップの作成～

- 諫早市内全域の土砂災害ハザードマップの整備率100%を達成。(令和3年11月19日)
- 防災情報の普及、周知のため、市報および市ホームページにて公表。
- 今後、おおむね5年ごとの県の追加指定に伴い、更新。

【土砂災害ハザードマップ】



【土砂災害防止法に基づく指定区域数】

令和2年1月21日（最終指定告示年月日）

急傾斜		土石流		地すべり		指定区域 総数	
警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域
2,467	2,320	395	359	68	0	2,930	2,679

【地元説明会】

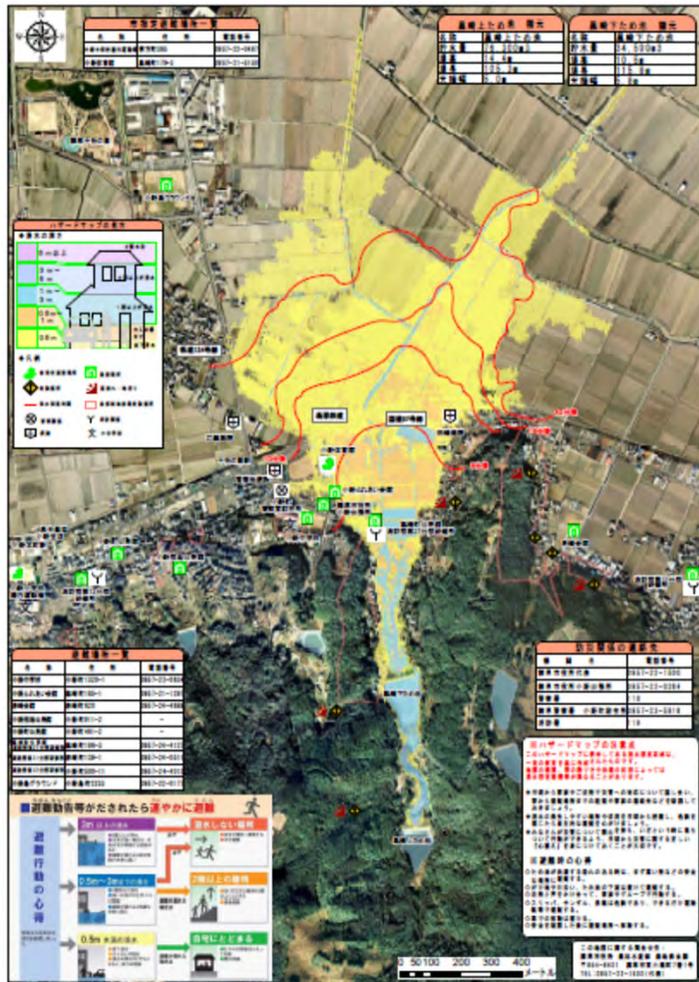


本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減、早期復旧・復興ための対策】

～土砂災害・ため池ハザードマップの作成～

- ・防災重点農業用ため池53箇所を対象にハザードマップを作成することとしており、これまで35箇所が完成、現在、残りの18箇所を作成中。完成したものはホームページに掲載。
- ・ハザードマップは住民の方とワークショップを行いながら作成。

【 完成したハザードマップ 】



【 住民の方とのワークショップ 】



本明川水系流域治水プロジェクト【被害の軽減早期復旧、復興のための対策】

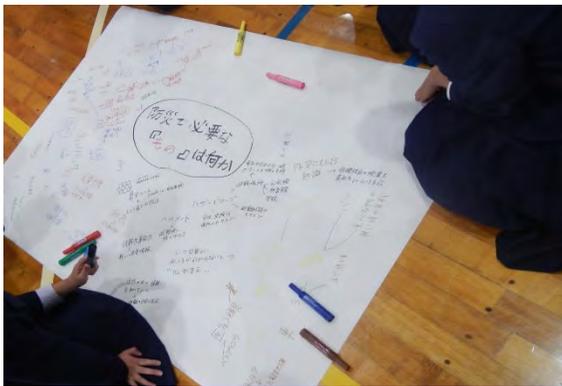
～防災意識向上につなげる防災教育の促進～

- 諫早市内の小・中学校で防災出前講座を実施
- 自治会、地区社会福祉協議会、保育会などの各団体へ出前講座を実施
- 市職員（主に新規採用職員）向けに防災講座を実施

小中学生を対象とした防災教育



災害に関する防災講座



班に分かれテーマに合った意見交換

自治会などの団体へ防災講座



災害全般と地域の防災情報を説明



防災情報の伝達等について説明

市職員に向けた防災講座



図上で本明川流域の浸水想定エリアを確認



本明川流域の浸水想定エリアをまち歩き